

2021年度 第3四半期

決算資料

2022年2月10日

株式会社 TBS ホールディングス

2021年度 第3四半期決算ハイライト

2021年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 株式会社TBSホールディングス 財務戦略局 IR推進部

Tel : 03-3746-1111 (代表) HP : <http://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

2021年度 第3四半期決算ハイライト

2021年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

2021年度 第3四半期決算

- ▶ 連結全体では増収増益（営業利益・経常利益）。前年は投資有価証券の売却益が大きく、親会社株主に帰属する四半期純利益については反動で減益。
- ▶ メディア・コンテンツ事業は、スポット広告市況が好調でTBSテレビを中心とした放送関連会社の業績が回復したことに加え、無料・有料動画配信事業も大幅に伸長し、増収増益。
- ▶ ライフスタイル事業も、緊急事態宣言再発出による店舗休業はあったものの、前年の感染症拡大の影響からの反動増や、通販事業の好調維持等により増収増益。

2021年度 通期業績予想および配当予想の修正

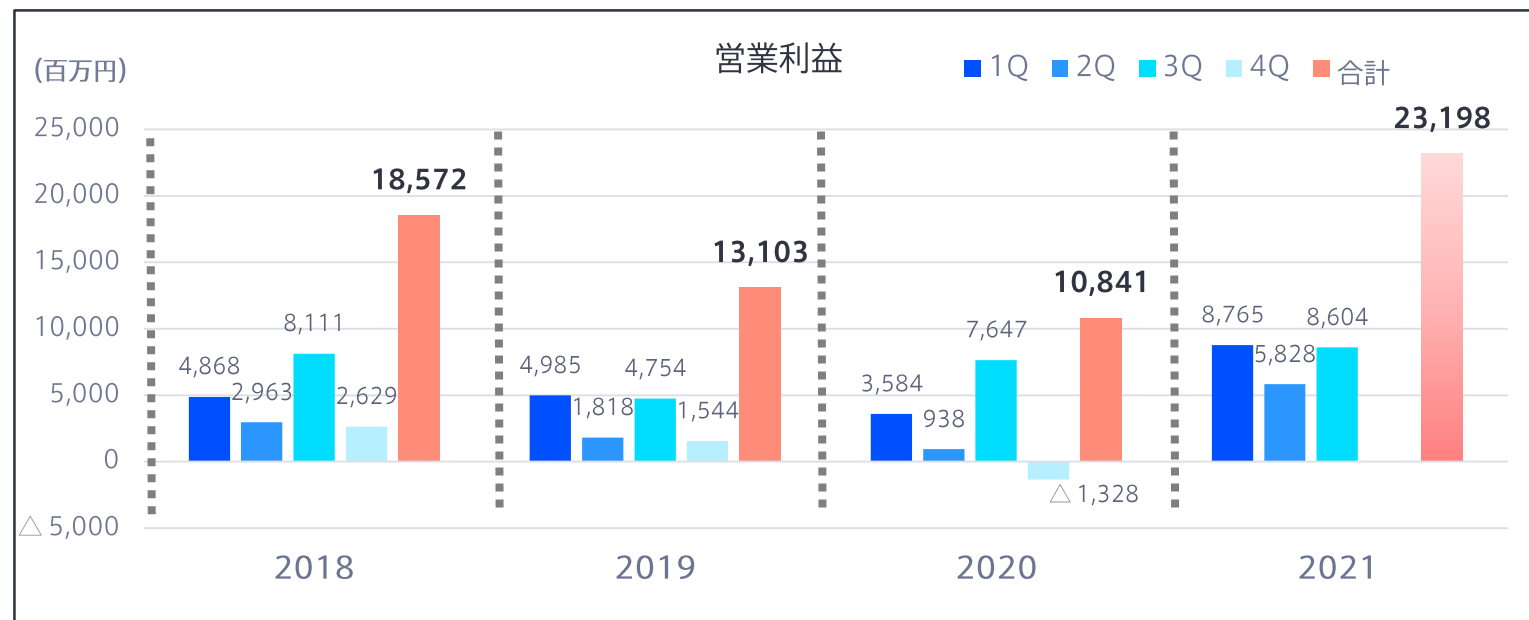
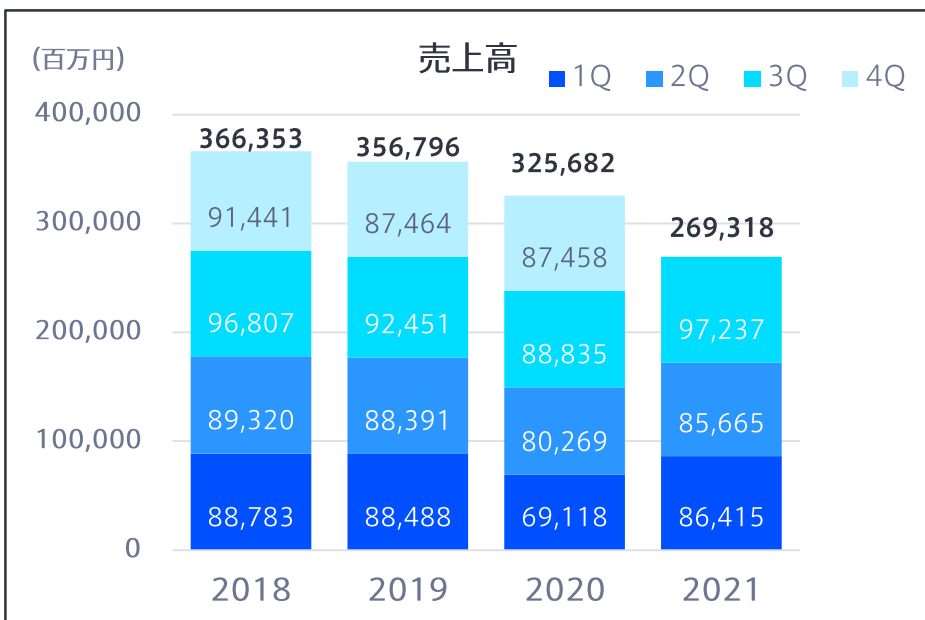
- ▶ TBSテレビのタイム・スポット収入及び配信収入が好調を維持していることや、コストコントロールによる費用削減効果に加え、投資有価証券の売却益の発生も見込まれるため、通期の業績（売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益）を上方修正。
- ▶ 経常的な利益が期首時点より大幅に伸長する予想のため、前回予想の15円に7円を加え、1株当たり22円に期末配当予想を修正。

第3四半期 連結損益計算書

メディア・コンテンツ事業では、スポット広告市況が好調で配信事業も大幅に伸長。ライフスタイル事業も、前年の感染症拡大の影響からの反動増となり、連結全体で増収増益（営業利益・経常利益）。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年の投資有価証券売却益が大きく、反動で減益。

(単位：百万円)

連結	2020年度 3Q(4-12月)	2021年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率
売上高	238,223	269,318	+31,094	+13.1%
営業利益	12,170	23,198	+11,028	+90.6%
経常利益	21,076	33,385	+12,308	+58.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32,472	21,367	△11,104	△34.2%



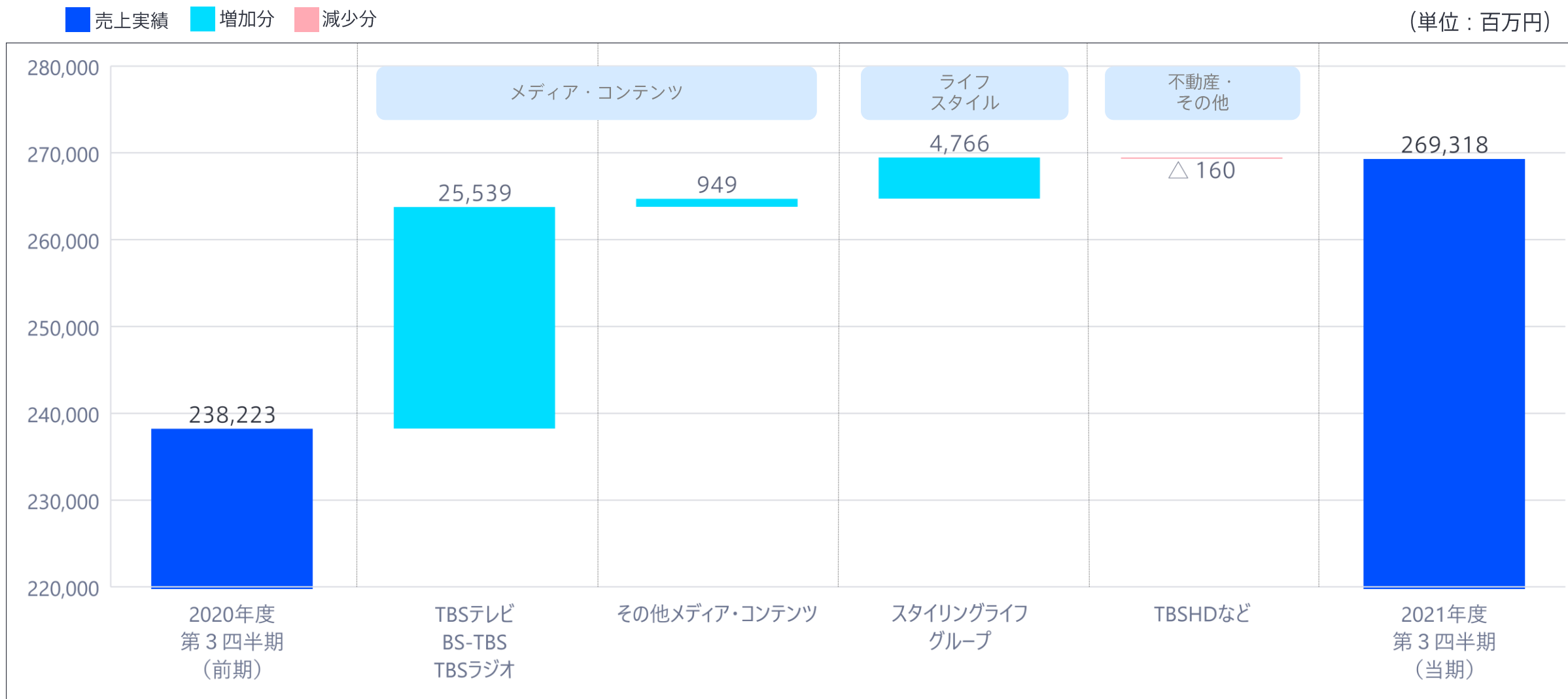
(単位：百万円)

	外部売上				営業利益			
	2020年度 3Q (4-12月)	2021年度 3Q (4-12月)	前年差	増減率	2020年度 3Q (4-12月)	2021年度 3Q (4-12月)	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	184,633	211,121	+26,488	+14.3%	5,029	14,365	+9,336	+185.7%
ライフスタイル	41,620	46,387	+4,766	+11.5%	856	2,994	+2,137	+249.6%
不動産・その他	11,969	11,809	△160	△1.3%	6,290	5,837	△453	△7.2%
連結	238,223	269,318	+31,094	+13.1%	12,170	23,198	+11,028	+90.6%

増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	TBSテレビ (+24,554) マンガボックス (+2,237) TBSアクト (+1,324) TCエンタ (+758) BS-TBS (+559) 日音 (△888) TBSグローディア (△3,123)	TBSテレビ (+10,689) TBSアクト (+988) BS-TBS (+521) TBSスパークル (+366) TBSグローディア (△1,266)
ライフスタイル	スタイリングライフグループ (+4,766)	スタイリングライフグループ (+2,137)
不動産・その他	TBS HD (△40) TBSヘクサ (△124) 緑山スタジオ (+22)	TBS HD (△222) TBSヘクサ (△36) 緑山スタジオ (+51)

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業の放送関連会社が、スポット広告市況好調により大幅増収。ライフスタイル事業も店舗来客数の増加等で回復し、全体では大幅増収。

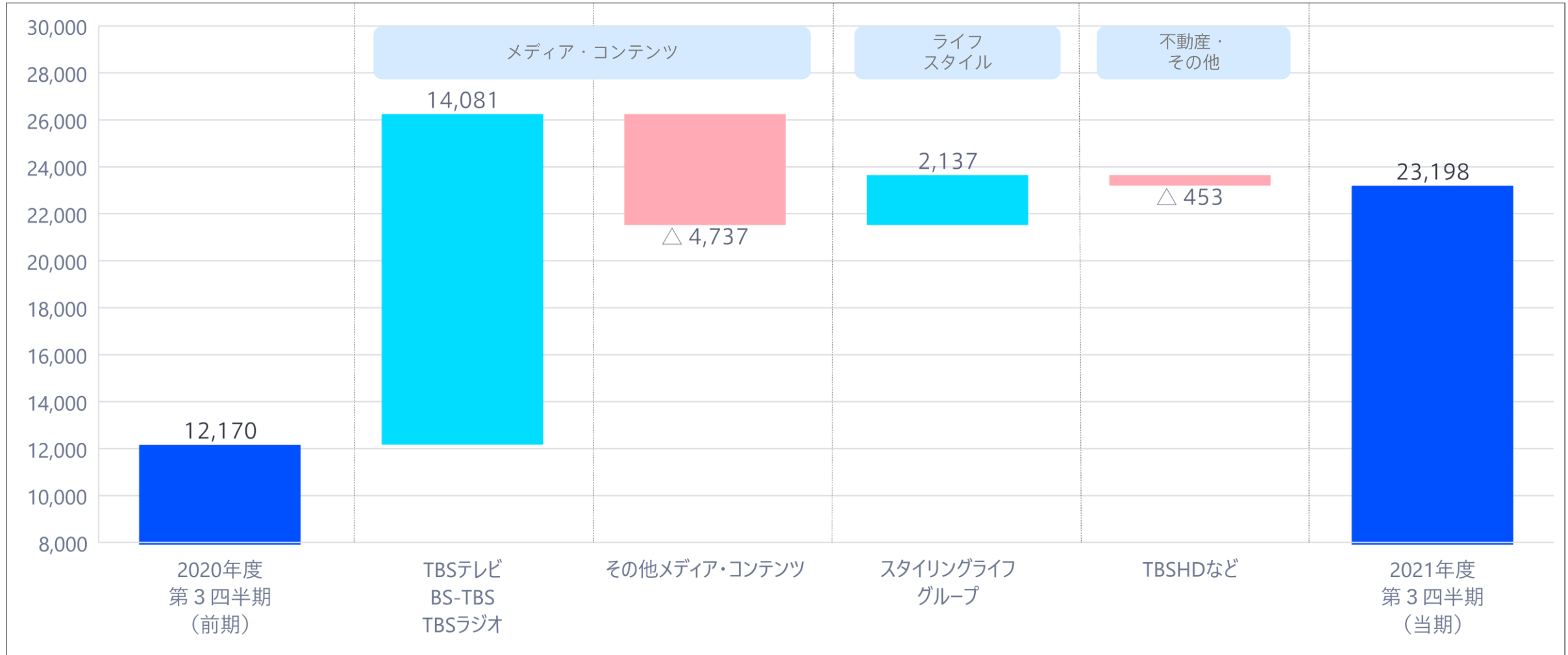


連結セグメント別 営業利益の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業は、前年好調のショッピング事業の反動減があったが、放送関連会社のスポット収入が好調。ライフスタイル事業も感染症拡大の影響からの反動増となり、全体では大幅増益。

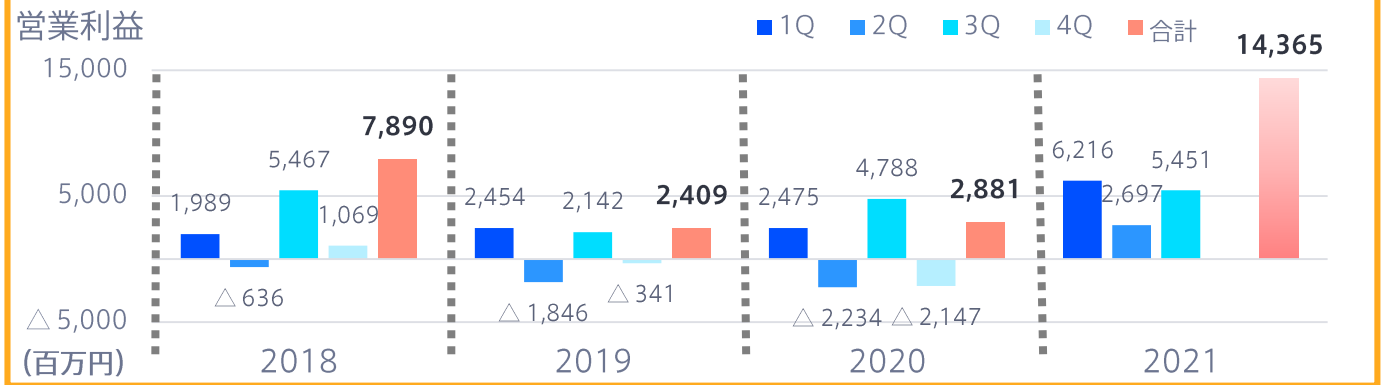
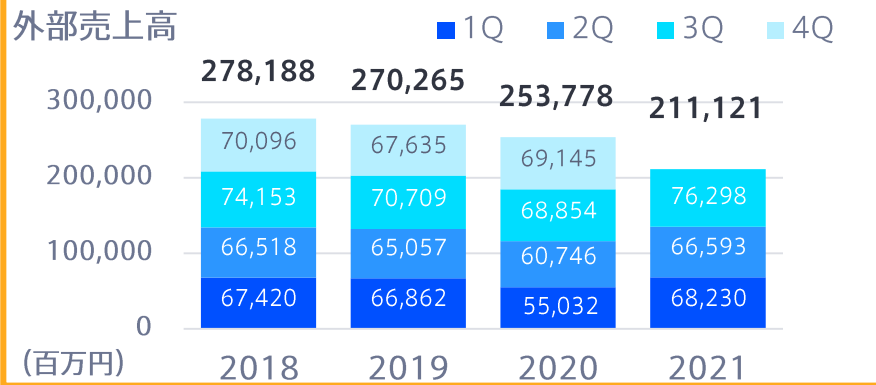
■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

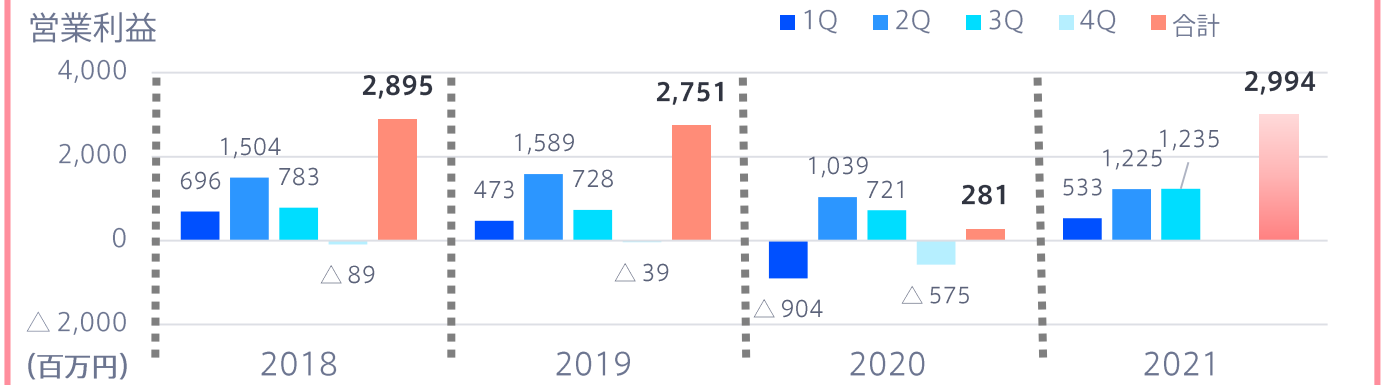
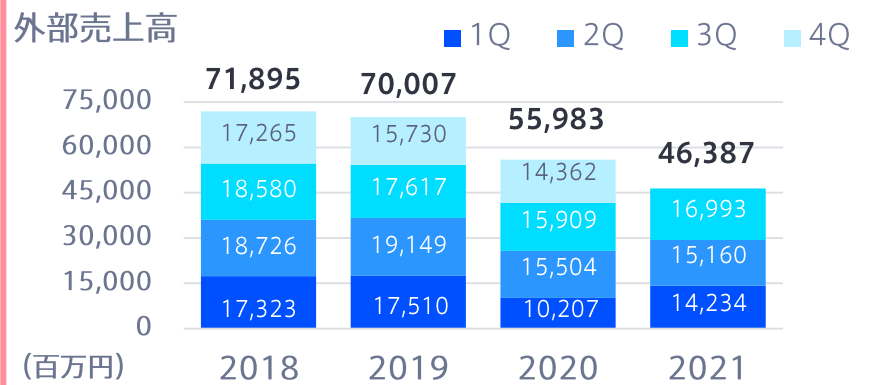


連結セグメント別 経年推移

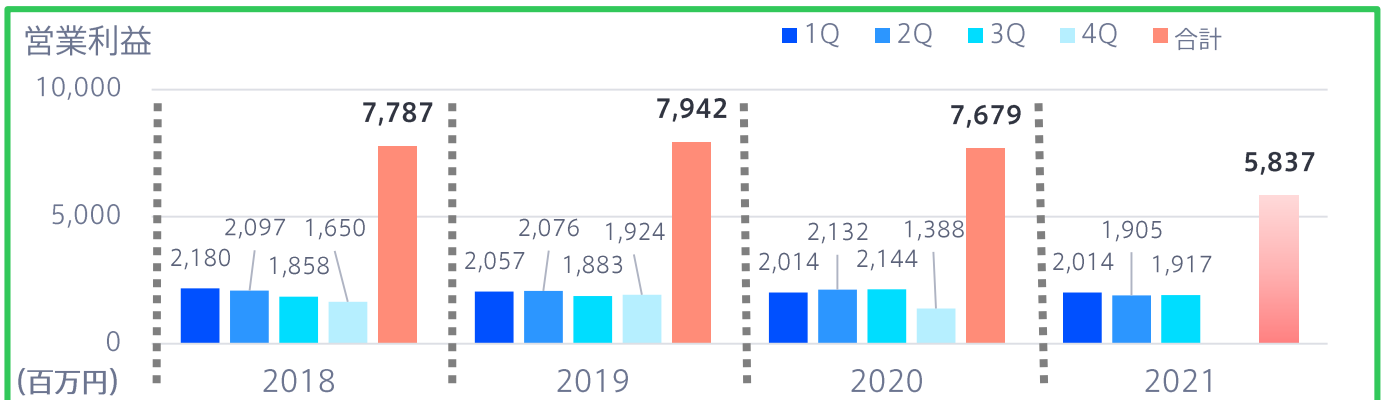
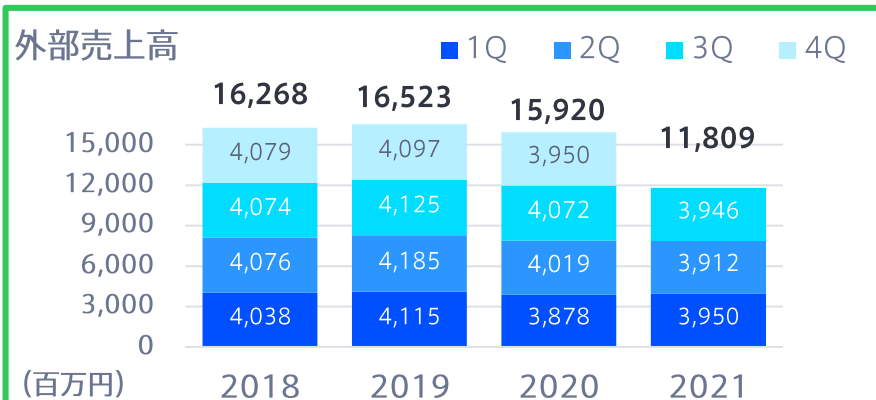
メディア
・
コンテンツ



ライフ
スタイル



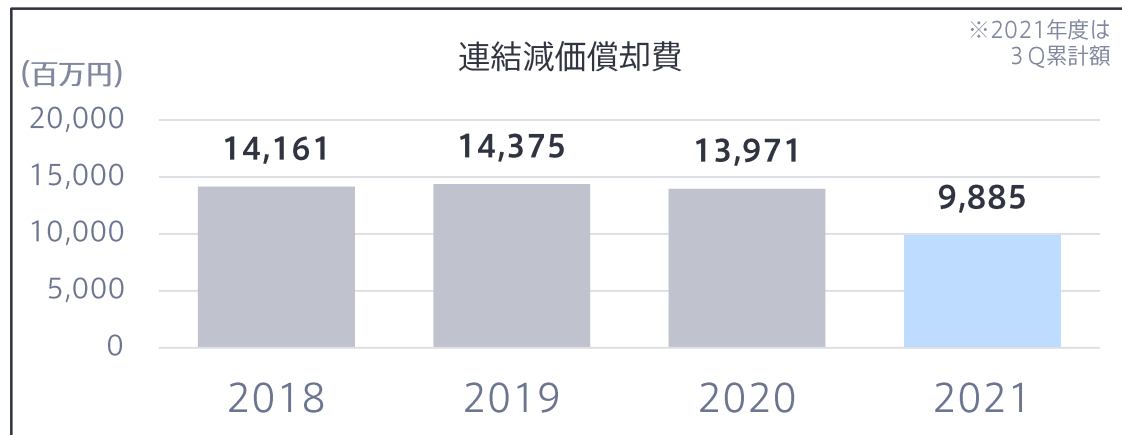
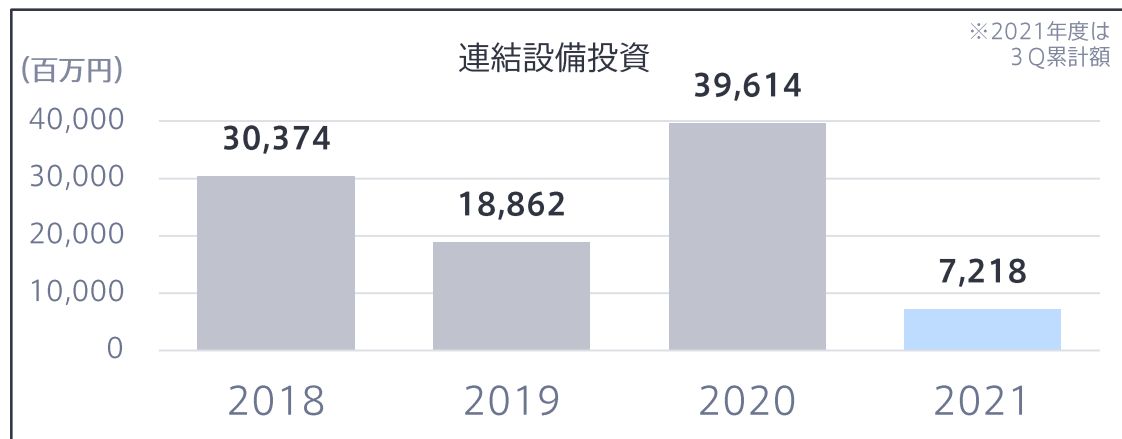
不動産
・
その他



設備投資と減価償却費

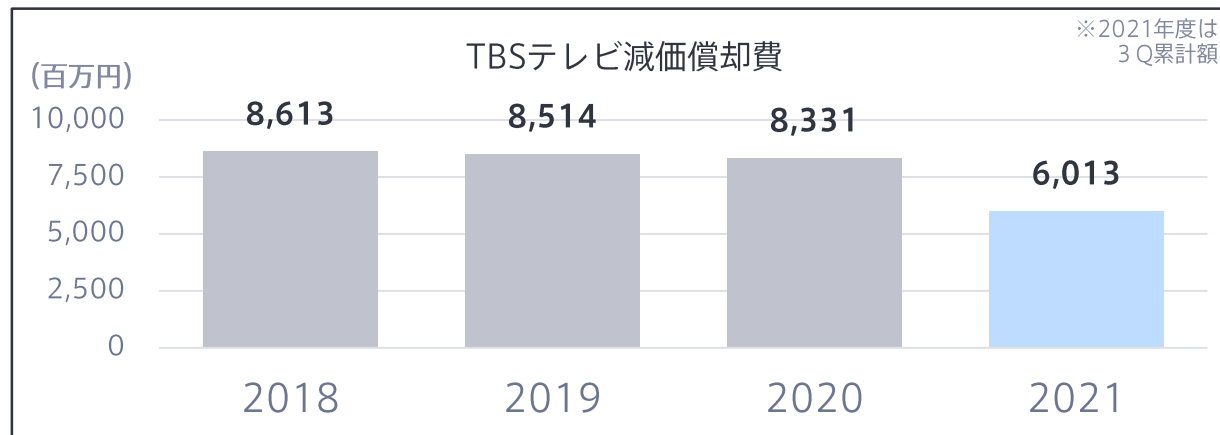
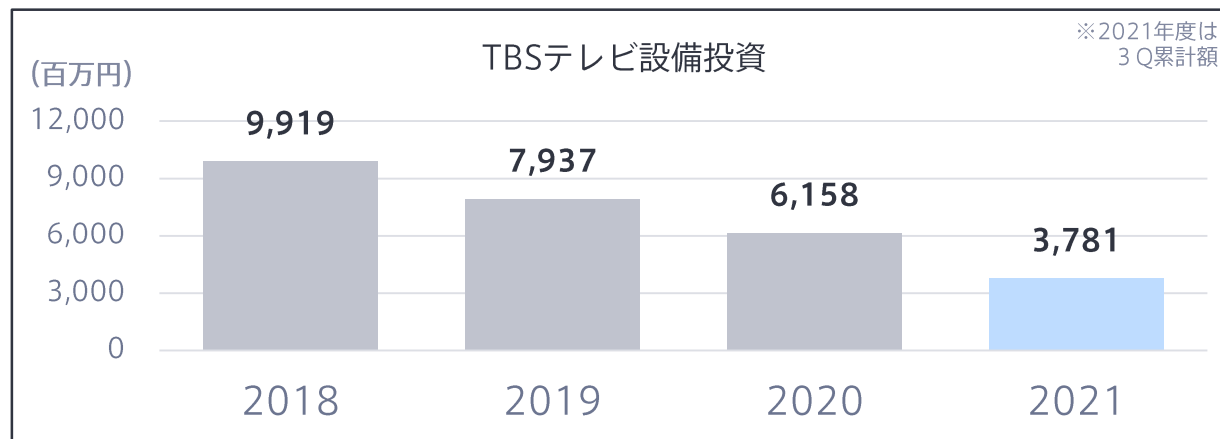
(単位：百万円)

連 結	2021年度 3Q(4-12月)	前年差
設備投資	7,218	△28,670
減価償却費	9,885	△433



(単位：百万円)

TBSテレビ	2021年度 3Q(4-12月)	前年差
設備投資	3,781	+448
減価償却費	6,013	△182



第3四半期 TBSテレビ 損益計算書

▶ スポット広告市況の好調や配信事業の大幅伸長等により、大幅な増収増益（営業利益、経常利益）。
前年は投資有価証券の売却益が大きく、四半期純利益については反動で減益。

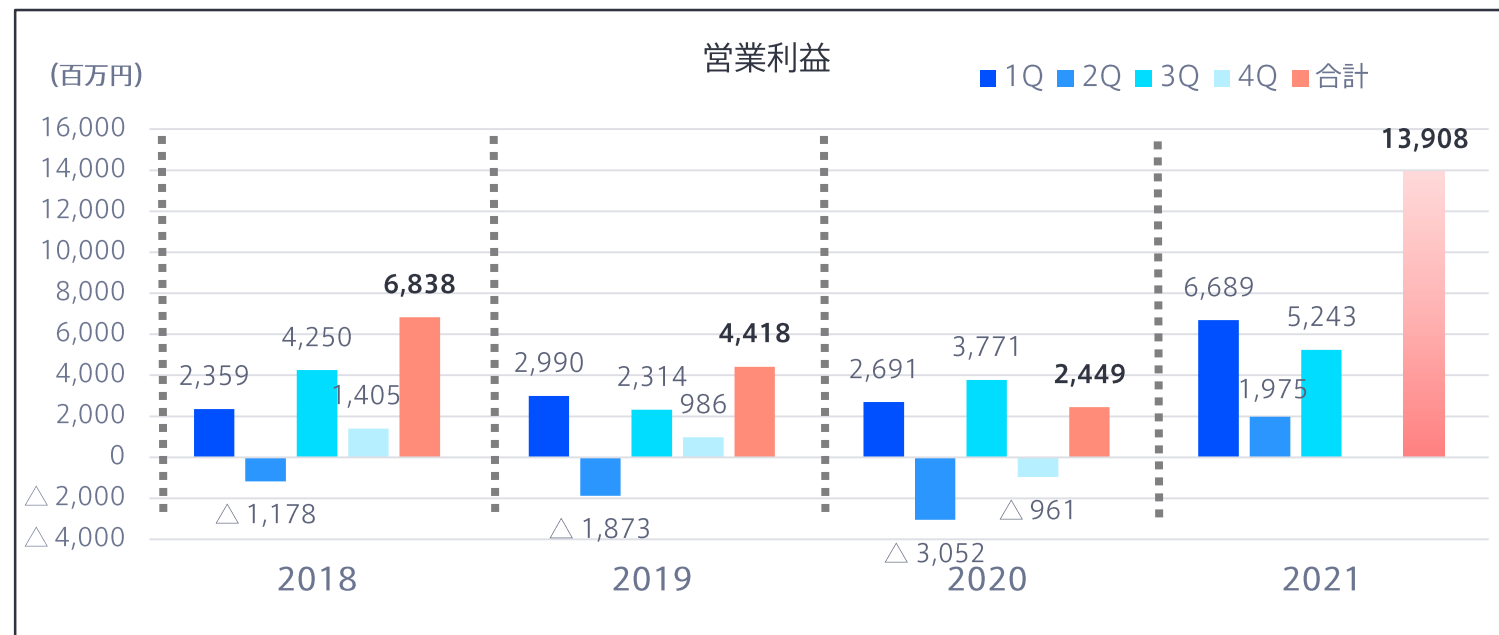
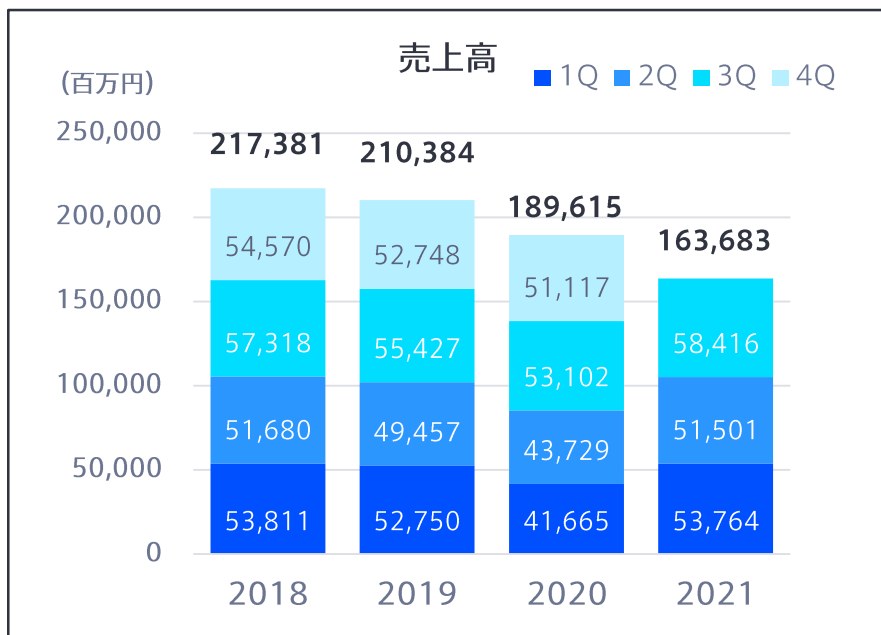
(単位：百万円)

TBSテレビ	2020年度 3Q(4-12月)	2021年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率
売上高	138,497	163,683	+25,186	+18.2%
営業利益	3,410	13,908	+10,497	+307.8%
経常利益	5,582	15,820	+10,237	+183.4%
四半期純利益	22,547	11,071	△11,476	△50.9%

営業費用等

- 番組原価 +6,491
- 代理店手数料 +3,978 (今期22,098)
- NW費 + 271
- 事業部門営業費用 +2,301

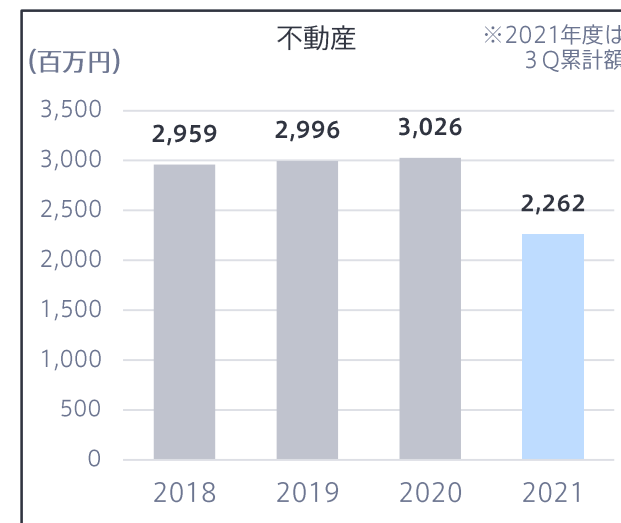
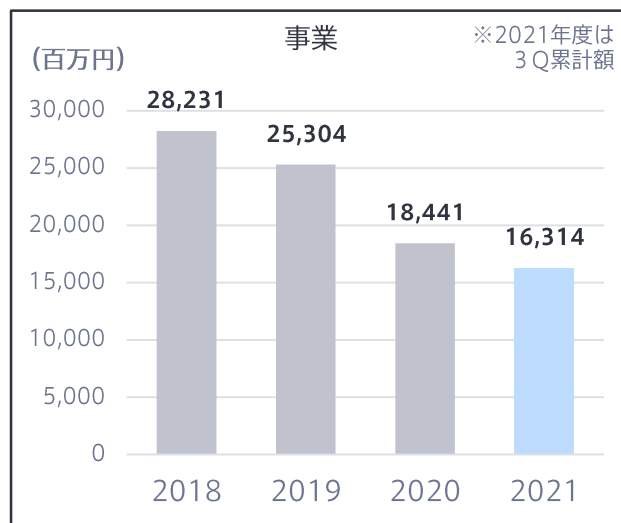
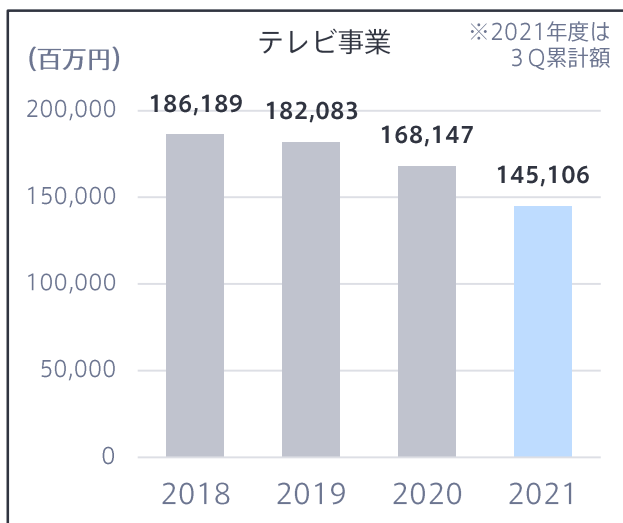
特別利益（投資有価証券売却益） 1,083
特別損失（固定資産撤去費、感染症拡大に伴う損失） 152



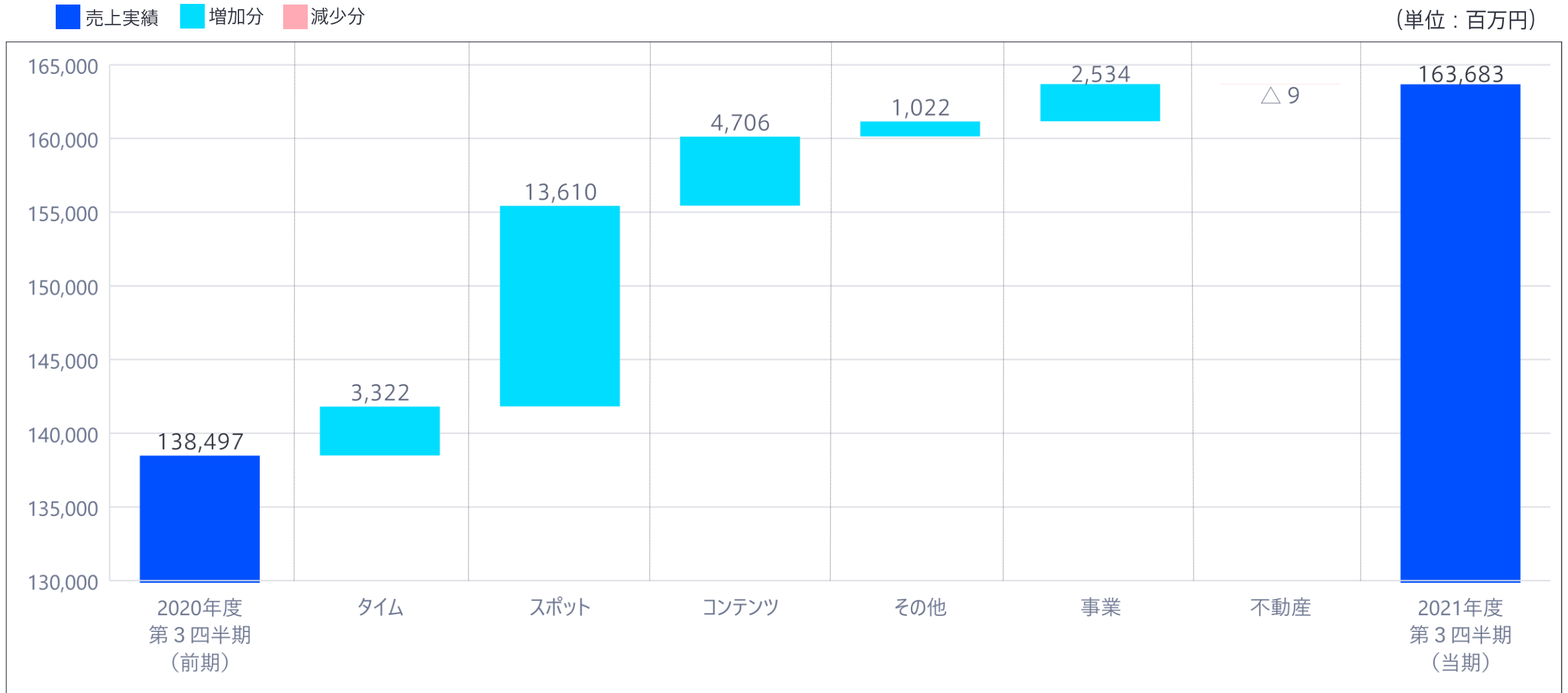
(単位：百万円)

	2021年度 3Q (4-12月)	前年差
テレビ事業	145,106	+22,661
(タイム)	62,782	+3,322
(スポット)	62,462	+13,610
(コンテンツ)	15,980	+4,706
(その他)	3,881	+1,022
事業 ※	16,314	+2,534
不動産	2,262	△9
収入合計	163,683	+25,186

※7月より事業部門にあった海外番販事業の一部をコンテンツに移管。



▶ スポット広告市況の好調や配信事業の大幅な伸長により、大幅な増収。



タイム・スポット収入 対前年比

(単位：百万円)

	タイム			スポット				備考
	2021年度	前年差	増減率	2021年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	7,230	+1,032	+16.7%	7,164	+1,195	+20.0%	+22.3%	タイム前年比プラス要因は、「マスターズ」の反動増など
5月	6,727	+10	+0.2%	7,471	+3,310	+79.5%	+78.5%	
6月	6,320	+269	+4.4%	7,229	+3,229	+80.7%	+85.1%	
7月	7,896	+1,428	+22.1%	6,400	+1,796	+39.0%	+30.7%	東京オリンピック・パラリンピック
8月	8,130	+1,552	+23.6%	5,005	+858	+20.7%	+20.9%	東京オリンピック・パラリンピック
9月	5,903	△418	△6.6%	6,318	+1,180	+23.0%	+28.9%	タイム前年比マイナス要因は、「お笑いの日」の反動減など
10月	6,770	+30	+0.5%	7,307	+876	+13.6%	+10.9%	
11月	6,842	△750	△9.9%	7,681	+935	+13.9%	+10.8%	タイム前年比マイナス要因は、「マスターズ」の反動減など
12月	6,961	+167	+2.5%	7,883	+227	+3.0%	+3.0%	
1月								
2月								
3月								

1Q	20,277	+1,312	+6.9%	21,866	+7,735	+54.7%	+55.8%	
2Q	21,930	+2,562	+13.2%	17,723	+3,835	+27.6%	+27.1%	
3Q	20,573	△552	△2.6%	22,872	+2,039	+9.8%	+7.9%	
4Q								
通期								

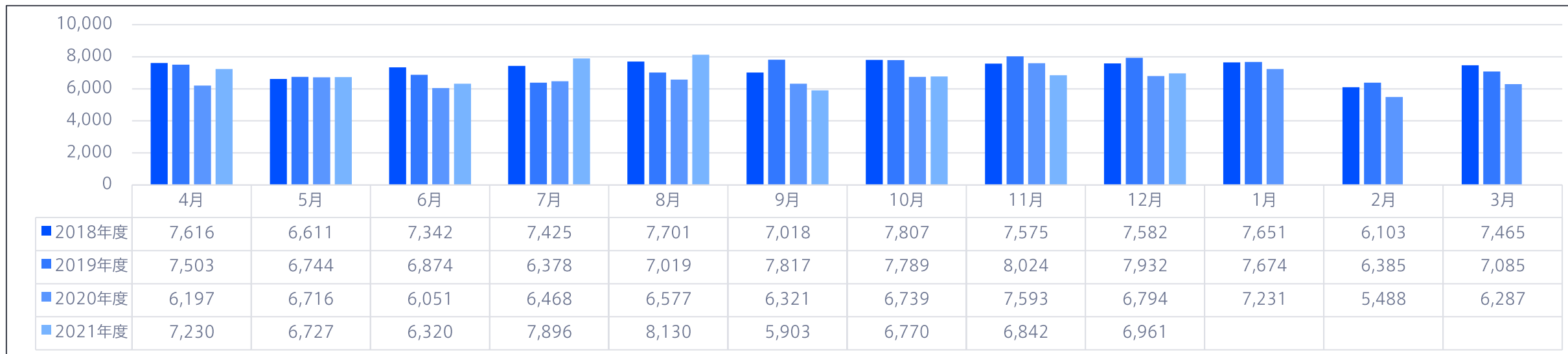
●スポット5局シェア（推計） 四半期推移

2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
19.3%	19.2%	18.7%	19.1%	20.2%	19.2%	19.1%	18.9%	20.5%	20.2%	19.4%	19.3%	20.4%	20.3%	19.7%	

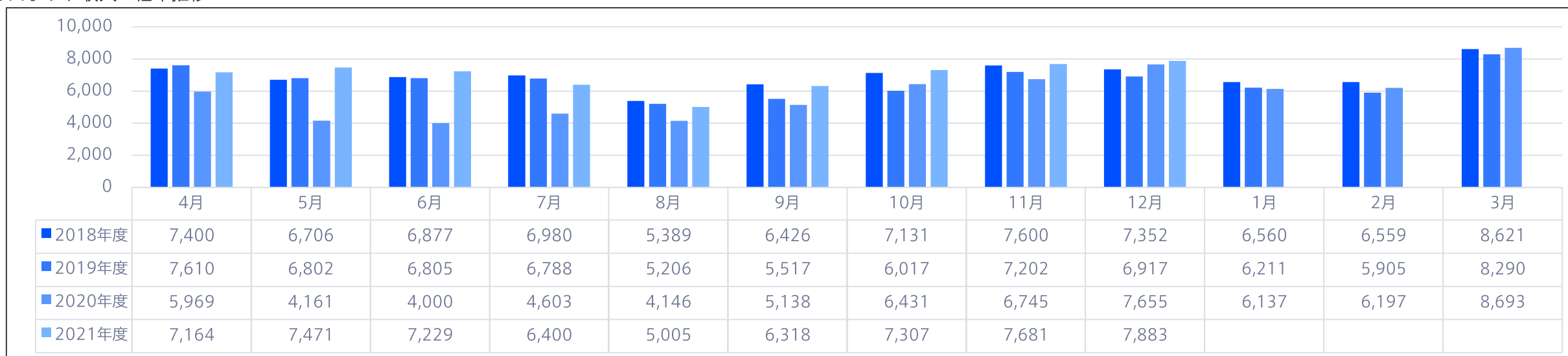
タイム・スポット収入 経年推移

●タイム収入 経年推移

(単位：百万円)



●スポット収入 経年推移



テレビ番組原価（制作費）

第3四半期は、選挙や番組強化などで増加。通期予想は、「東京オリンピック・パラリンピック」関連取材体制の縮小の影響等で期首予想（※）より減少。

（単位：百万円）

（※）期首予想 97,415百万円

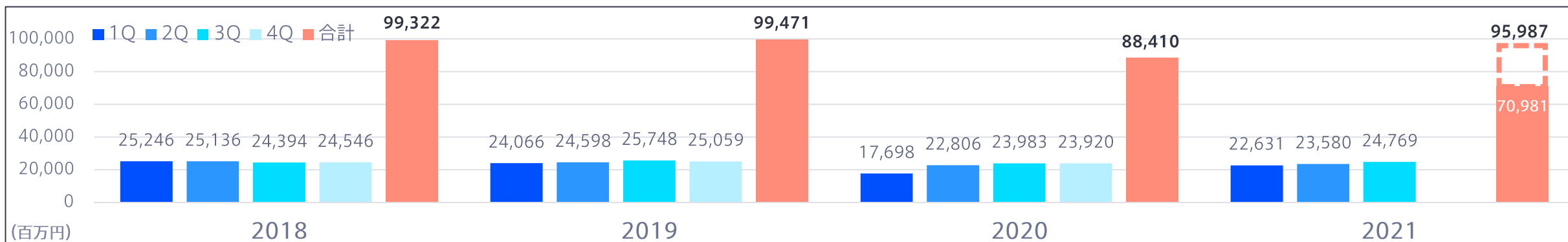
	2020年度実績	2021年度実績	前年差
第1四半期	17,698	22,631	+4,932
第2四半期	22,806	23,580	+773
上期	40,505	46,211	+5,705
第3四半期	23,983	24,769	+785
(地上波直接費)	19,394	19,322	△72
(その他直接費及び間接費)	4,588	5,447	+858
第4四半期	23,920	—	—
通期累計	88,410	※ 95,987	+7,576
(地上波直接費)	69,598	75,558	+5,959
(その他直接費及び間接費)	18,812	20,429	+1,617

テレビ番組原価に含まれる主な費用

地上波直接費：
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費

その他直接費および間接費：
地上波以外の直接費、
減価償却費・社員人件費等の配賦原価

※点線内の通期累計及び内訳は、全て見込みです。

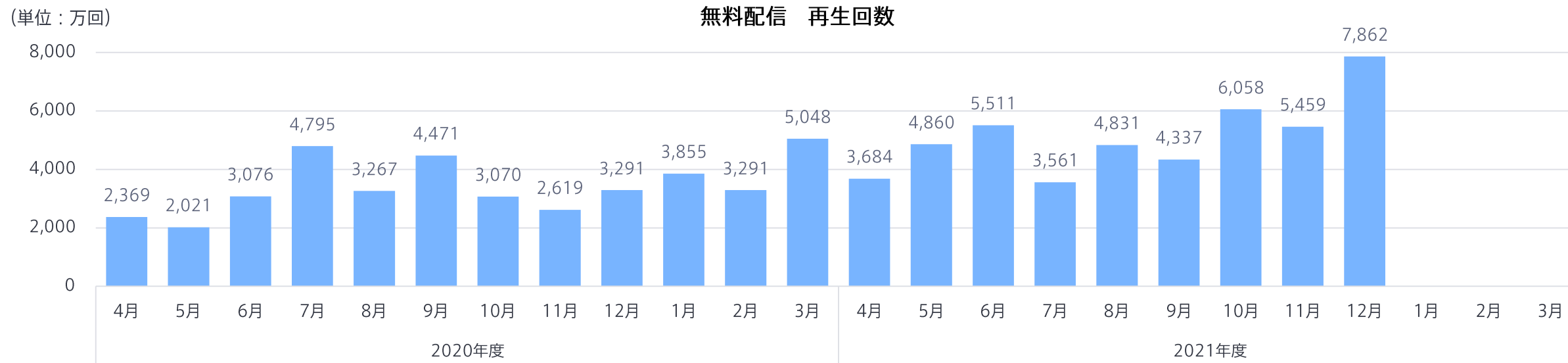


▶ 無料・有料配信とも大幅増収。有料配信は、Paraviなど国内配信に加え、海外配信（Netflix、Disney+）が10月よりスタート。

	2021年度 3Q（4月-12月） 前年増減率
無料配信収入 (TVer・TBS FREE・GYAO!など)	+78%
ユニークブラウザ数*	+42%
再生回数	+59%
有料配信収入	+73%

在京5局で1位

* 端末ごとの重複のないユーザー数



▶ 前年は実施できなかった興行の復調やアニメの番販好調で、事業部門全体では増収増益。

(単位：百万円)

部 門	2021年度 3Q (4-12月)	前年差	主な増減要因
事業 (催事・興行)	4,479	+2,690	「スタンディングオベーション」や「スターズ・オン・アイス」、 「ゴッホ展」が健闘。
映画	844	△28	宣言再発出・延長の影響で「かぐや様は告らせたい-天才たちの恋愛頭 脳戦-ファイナル」の興収が伸び悩む。
アニメ	923	+448	「五等分の花嫁」や「プラチナエンド」の番販収入が好調。
海外ビジネスセンター (旧：海外事業)	1,688	+70	フォーマット販売が復調。 ※7月より海外番販事業の一部をコンテンツに移管。
メディア事業	6,695	△360	CS事業はアロケーションの向上などにより好調だったものの、 有料配信事業のテレビ部門への移管により減収。
マーチャンダイジングセンター (旧：ライセンス事業)	1,683	△285	ライブマルチビューイングがオリンピックなどで実績を伸ばしたものの、 前年の巣ごもり需要の反動で減収。
収入計	16,314	+2,534	
事業部門営業費用	12,817	+2,301	
部門利益	3,496	+233	

主なグループ会社の状況

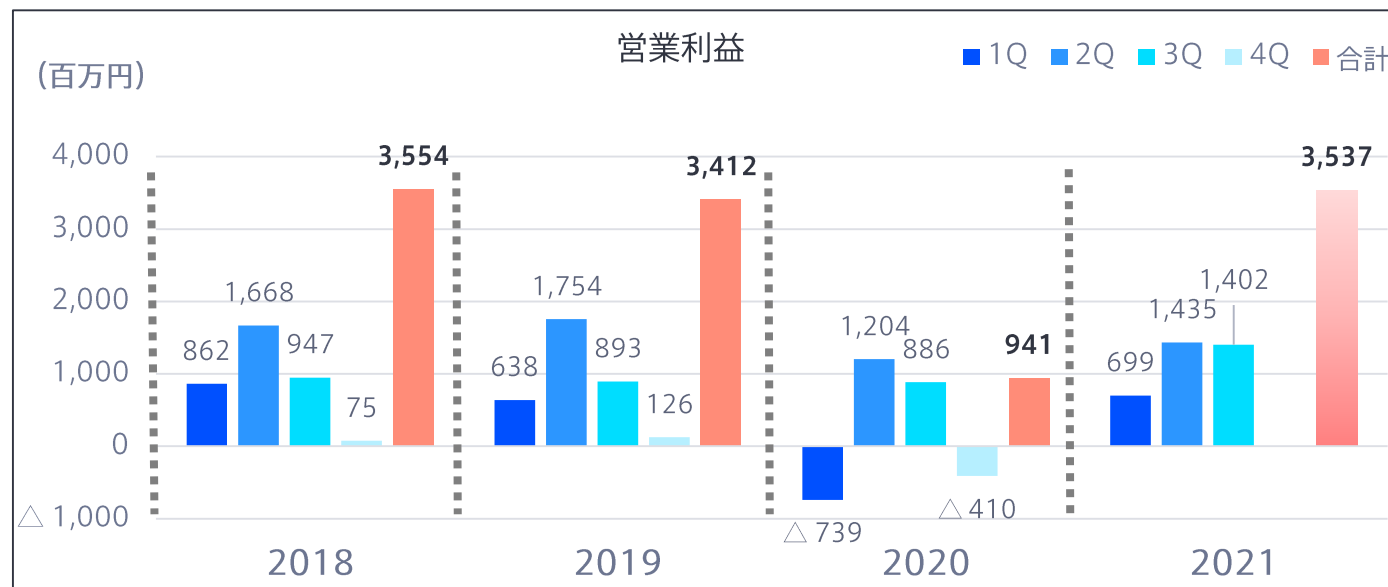
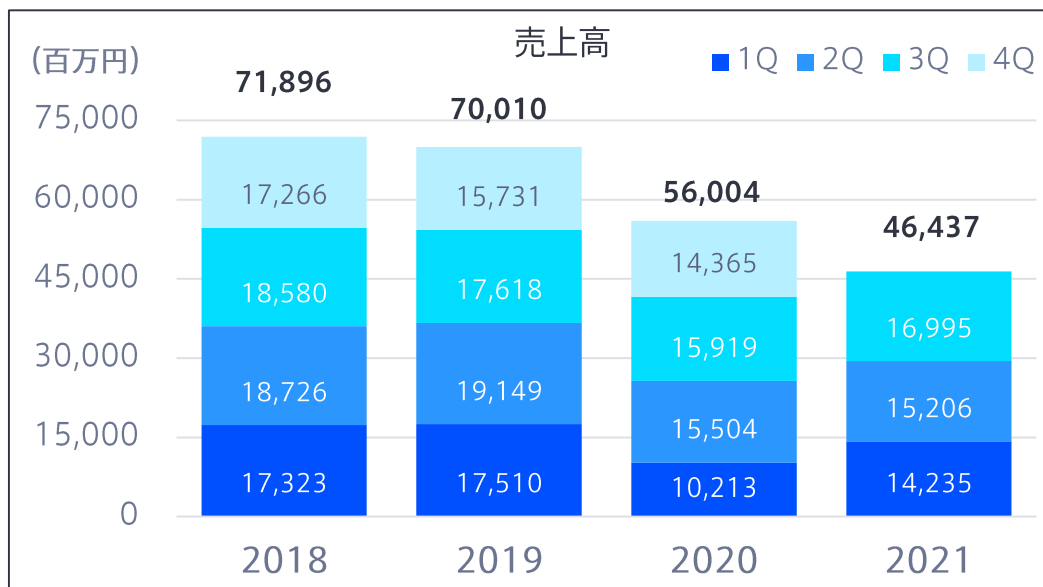
(単位：百万円)

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2020年度 3Q(4-12月)	2021年度 3Q(4-12月)	前年差	2020年度 3Q(4-12月)	2021年度 3Q(4-12月)	前年差	
TBSラジオ	6,157	6,442	+285	318	529	+210	タイム収入好調で増収増益。
BS-TBS	11,477	12,079	+602	1,751	2,273	+521	スポーツ単発番組の再開や スポットの好調等で増収増益。
TBS グロウディア	25,188	20,969	△4,218	1,723	457	△1,266	前年ショッピングの巣ごもり需要 の反動減の影響大きく減収減益。
日音	7,295	6,259	△1,035	871	701	△169	前年から洋楽の落ち込みが大きく 減収減益。
TCエンタ テインメント	5,751	6,352	+600	602	602	+0	DVD新譜が好調で増収。

▶ 小売事業は緊急事態宣言再発出による影響があったが、宣言解除後は店舗来客数が増加に転じるなど前年の感染症拡大の影響から回復。通信販売事業は引き続き好調で、増収増益。

(単位：百万円)

スタイリングライフグループ (連結)	2020年度 3Q(4-12月)	2021年度 3Q(4-12月)	前年差
売上高	41,638	46,437	+4,798
営業利益	1,351	3,537	+2,185



2021年度 第3四半期決算ハイライト

2021年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

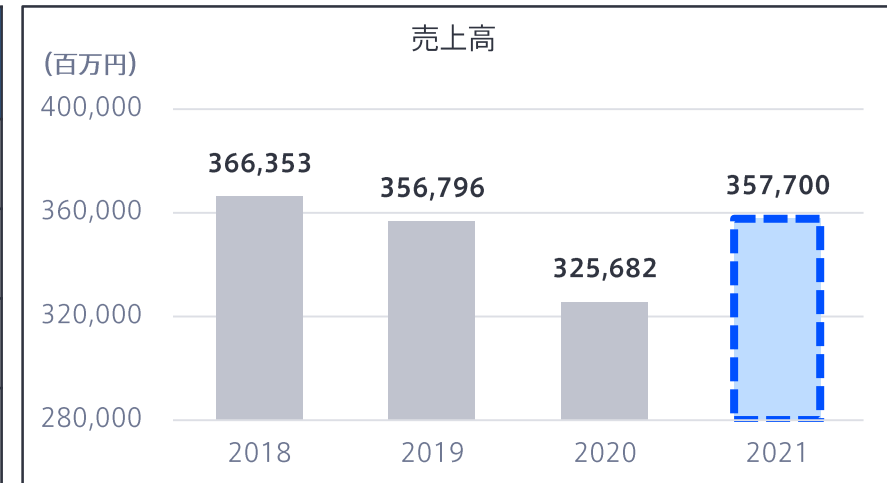
参考資料

2021年度 連結業績予想の修正

TBSテレビのタイム収入、スポット収入、配信収入の増加、および、投資有価証券売却による特別利益の発生を見込み、連結業績予想を上方修正。

(単位：百万円)

連結	前年実績 (2020年度)	前回予想 (11月11日発表)	修正予想	前回予想 からの増減
売上高	325,682	356,200	357,700	+1,500
営業利益	10,841	20,900	21,500	+600
経常利益	19,233	29,900	31,500	+1,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,072	19,100	32,200	+13,100



(単位：百万円)

セグメント別予想	売上高				営業利益			
	前年実績 (2020年度)	前回予想 (11月11日)	修正 予想	前回予想 からの 増減	前年実績 (2020年度)	前回予想 (11月11日)	修正 予想	前回予想 からの 増減
メディア・コンテンツ	253,778	280,600	281,000	+400	2,881	12,600	13,000	+400
ライフスタイル	55,983	59,800	61,000	+1,200	281	1,800	2,300	+500
不動産・その他	15,920	15,800	15,700	△100	7,679	6,500	6,200	△300
連結	325,682	356,200	357,700	+1,500	10,841	20,900	21,500	+600

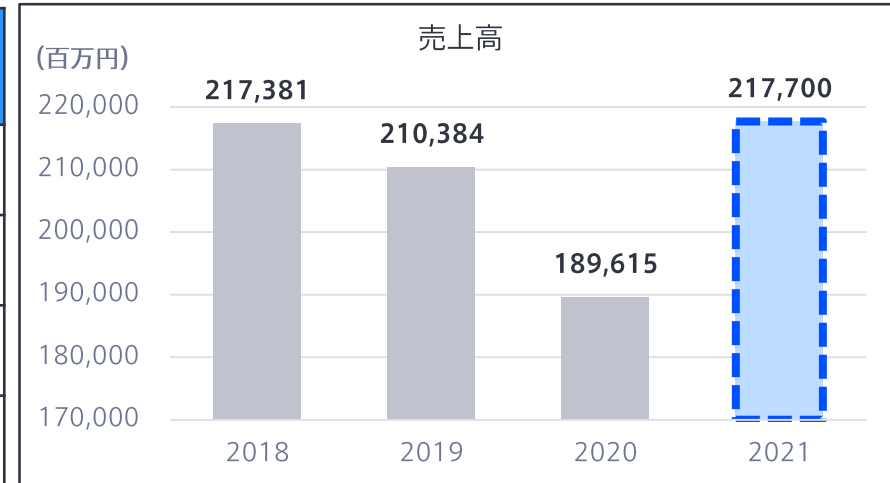


2021年度 TBSテレビ業績予想の修正

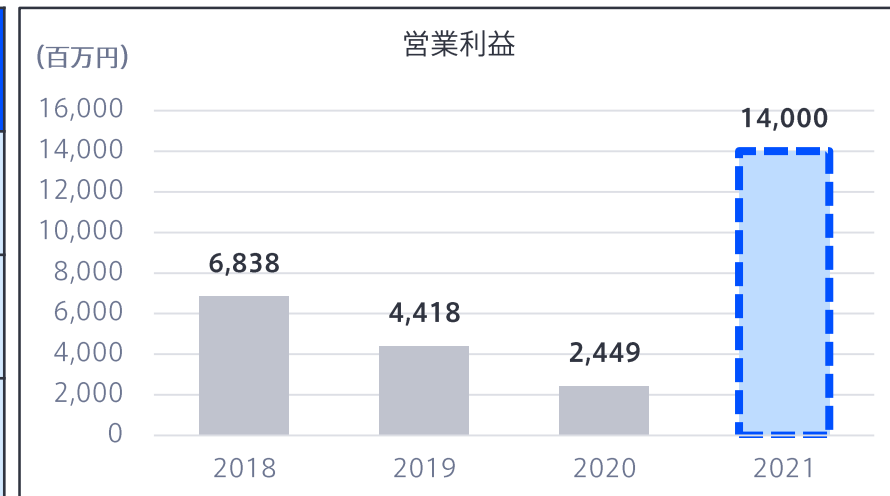
▶ タイム収入、スポット収入、配信収入の増加、および、投資有価証券売却による特別利益の発生を見込み、業績予想を上方修正。

(単位：百万円)

TBSテレビ	前年実績 (2020年度)	前回予想 (11月11日発表)	修正予想	前回予想 からの増減
売上高	189,615	216,100	217,700	+1,600
営業利益	2,449	13,200	14,000	+800
経常利益	4,736	15,400	16,100	+700
当期純利益	21,793	10,800	17,000	+6,200



	2021年度3Q 累計実績	通期予想 (前回予想との比較)	
タイム	+5.6%	+4.3%	→ +4.3%
スポット	+27.9%	+19.6%	→ +21.2%
番組原価 (百万円)	70,981	95,748	→ 95,987



2021年度第3四半期決算（累計）業績概要

2021年度 業績見通し

株主還元

今後の重点戦略

参考資料

基本方針	株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、連結ベースの配当性向30%を目処としつつ、安定的かつ継続的な配当を基本とする。業績伸長等の際には、特別配当等により還元の充実に努める。自己株取得は、これまで通り機動的に検討する。
-------------	--

中計2023 配当方針	1株当たり30円を下限とする。 ただし、2期連続で当期利益を生まなかった場合は、下限配当金を見直すことがある。
------------------------	--

	1株当たり配当金（円）			配当性向（%）	特殊な要因（★） の影響を除いた 配当性向（%）
	第2四半期末	期末	年間		
2017年度	15	15	30	30.5	30.5
2018年度	16	17	33	22.9	31.7
2019年度	13	17	30	17.3	43.0
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度 （※予想）	15	※22	※37	※19.6	※30.3

▶ 「特殊な要因」(★)を除く経常的な利益が期首時点より大幅に伸長する予想のため、1株当たり期末配当予想を、前回予想15円に7円を加え22円に修正。中間配当金15円と合わせて、年間配当金は37円の予定。

(★) 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付けております。

▶ 株主還元及び資本効率の向上を図るため、自己株式を取得。

取得株式総数	3,500,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.05%
取得株式総額	8,500,000,000円（上限）
取得期間	2022年3月3日～2022年10月31日

※2021年12月31日時点での自己株式の保有状況
 発行済株式総数（自己株式を除く） 170,913,489株
 自己株式数 3,796,348株

※過去5年間の自己株式取得金額
 (2019年5月～ 約10億円)
 (2020年2月～ 約55.9億円)

●自己株式の消却について

従業員持株会を通じて譲渡制限付株式を付与する制度に用いる予定のものなどを除き、大部分を消却。

消却する株式の総数	3,118,772株 消却前の発行済株式総数に対する割合1.79%
消却後の発行済株式総数	171,591,065株
消却予定日	2022年2月28日

2021年度 第3四半期決算ハイライト

2021年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料



3Q (4月~12月)		前年増減率 (3Q累計)
●無料配信収入 (運用型比率、上期平均 29.0%→第3四半期 39.0%)		+78%
●再生回数	3Q累計4億6,167万回	+59%
●ユニークブラウザ数 (端末ごとの重複のないユーザー数)		+42%

在京5局で
1位



▶ 今後も、ドラマ、バラエティの両面で、再生回数、ユニークブラウザ数の1位を維持していく。

●ドラマやバラエティの品揃え強化

→オリジナルストーリーやスピンオフなど番組派生コンテンツで高付加価値化。



●過去の名作ドラマのコンテンツ数を拡大

→3Qは、映画「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」公開（12月）に合わせた関連ドラマの配信が好評。



Netflix

全世界独占配信

「未来日記」

オリジナル恋愛リアリティ企画
2021年12月～シーズン1を配信開始
シーズン2 配信決定



「離婚しようよ」

オリジナルドラマ
2023年配信開始予定

Amazon Prime Video

世界同時独占配信

『HOMESTAY』

2022年2月11日～



制作プロダクション：TBSスパークル

Keshet International

共同制作

日曜劇場「DCU」

2022年1月～



●ニュース配信事業の拡大



TBS NEWS	前年増減率 (4月-12月)		
デジタル配信収入	+65%	*パートナーPF Yahoo!ニュース、YouTube、Twitter、TikTok、SmartNews、グノシー、LINE NEWS、NewsDigest、ニューススイート、@nifty、BIGLOBE、Excite、UQライブ、ノアドット、等(順不同)	
パートナーPF* 配信PV・再生数	+95%	2020年度 (4月-12月)	2021年度 (4月-12月)
		約2.1億回	約4.1億回

●JNNのインターネットニュースプラットフォームの誕生

TBS NEWS



2022年4月より「TBS NEWS DIG Powered by JNN」へ変更。
JNN系列局が協力して収益化を目指す。

名称	株式会社 THE Factory
事業内容	コンテンツの企画、製作、配信及び販売
設立年月日	2022年1月7日
株主	株式会社TBSホールディングス 100%

新会社、設立完了
総額300億円の出資を予定
2022年春以降、本格稼働

見据える相手は“世界”、見据える品質は“世界標準”

- “制作実働部隊を持たない”コンテンツ・プロデューサー&IP管理集団で構成し、グローバル・プラットフォームの要求に応える、ドラマをはじめとしたハイスペックな「映像」コンテンツを企画開発、プロデュース。
- グローバル・プラットフォームにとどまらず、映画、ライブエンタテインメント、ライセンス事業等、IPを核とするマルチユース展開を目指す。

総額300億円規模のコンテンツ制作費予算を準備

- 「TBSグループ 中期経営計画2023」で掲げる1,000億円以上の成長投資の一環。

▶ 地上波の常識を超えた「コンテンツ」を起点とする「IPポートフォリオ」へ挑戦する。



(株)マンガボックス 連結子会社化

- ◆ 好調な業績に加え、「EDGE」戦略推進の観点で、オリジナルIP創出企業としての重要性が向上し、第3四半期から連結子会社化。
- ◆ 2021年4月期の金曜ドラマ「リコカツ」は、TBSテレビでの地上波放送と「マンガボックス」でのコミカライズを同時に進行して話題。
- ◆ 最大のヒットIP「にぶんのいち夫婦」をTBSスパークルの制作で連続ドラマ化。
- ◆ 今後も、TBSグループ内で多くの連携施策を計画。



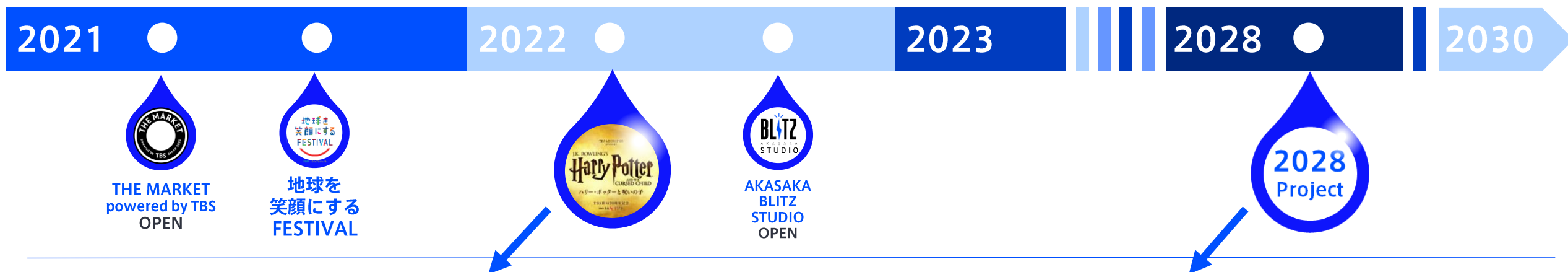
(株)Seven Arcs 25億円の増資を決定

- ◆ 人材・設備の拡充による制作力の強化。
- ◆ 優秀な人材・コンテンツが揃う制作環境の整備。



グローバルに通用する高品質・ハイエンドな作品の制作へ。

アニメへの投資を本格化



2022年7月8日（金）より
ロングラン上演開始。



国家戦略特別区域計画に認定。
“駅・まち一体”の開発を実現していく。

●今後の主なラインアップ

※2022/2/10現在

感染症拡大の影響や緊急事態宣言、まん延防止等重点措置による要請等で変更の可能性があることをお含みください。

	期間	タイトル	備考
映画	2022/3/18公開	「KAPPEI」	配給：東宝
	2022年公開	「ラーゲリより愛を込めて」	配給：東宝
	2023年公開	「劇場版TOKYO MER ~走る緊急救命室~」	
興行	2022/2/2-13	ミュージカル「SINGIN' IN THE RAIN ~雨に唄えば~」	東急シアターオーブ
	2022/3/17-21	Kバレエ『ロミオとジュリエット』	Bunkamura オーチャードホール
	2022/5/17-6/24	ミュージカル「るろうに剣心 京都編」	IHIステージアラウンド東京
	2022/6/1-5	Kバレエ『カルメン』	Bunkamura オーチャードホール
	2022/7/8-	舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』	TBS赤坂ACTシアター
	2022/12	ブロードウェイミュージカル『シカゴ』	東京国際フォーラム・ホールC
催事	2022/2/19-6/19	特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」	国立科学博物館

●年末年始視聴率 絶好調

		12/30~1/3	1/1~1/3
全日	新ファミリーコア	② 2.6	② 2.7
	ALL	④ 3.7	③ 3.9
G帯	新ファミリーコア	① 5.2	① 5.5
	ALL	③ 5.9	② 6.2
P帯	新ファミリーコア	① 5.1	① 5.5
	ALL	③ 5.8	② 6.3

新ファミリーコア視聴率（4~49歳）

12/30-1/3 G P帯1位は15年ぶり
1/1-3 G P帯単独1位は19年ぶり

●朝の大改編 継続的に注力



月一金 5:20-8:00 安住紳一郎 総合司会 / 香川照之 解説 杉山真也 / 江藤愛 / 宇賀神メグ



月一金 08:00-09:55

「サステナビリティ委員会」設置 「サステナビリティ方針」策定

2021.11.11

2021年10月1日付で代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、「サステナビリティ方針」を策定。

TBSグループ サステナビリティ方針

TBSグループは、社会的使命を持つメディアとして、すべてのステークホルダーと幅広いパートナーシップを構築し、幸福で持続可能な社会を共創していきます。

- ◆ 公正・正確な情報発信やコンテンツ、サービスの提供を通じて、環境・社会課題の解決に取り組めます。
- ◆ 人権や多様な価値観を尊重し、希望にあふれる社会の実現に貢献します。
- ◆ 法令や社会規範を守り、公正・透明な企業活動を行います。
- ◆ 多様な働き方を認め、安全で働きがいのある創造性を発揮できる職場を作ります。

<SDGs達成への貢献>

TBSグループは、2030年のSDGs達成に向けて、多様なコンテンツやサービスの提供を通じて、社会を動かす起点となり、幅広いパートナーシップで、「誰一人取り残さない」希望にあふれる社会の実現に貢献していきます。

<TBSグループ行動憲章>

すべてのステークホルダーから信頼され、社会的使命を果たしていくために必要とされる企業グループとして活動していくため、「TBSグループ行動憲章」を定めています。
<https://www.tbsholdings.co.jp/about/governance/statement.html>

TCFD提言への賛同

2021.11.11

世界各地で地球温暖化の影響とみられる異常気象や大規模な自然災害による被害が甚大化し、気候変動への対策が世界共通の課題となる中、TBSHDは、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明。



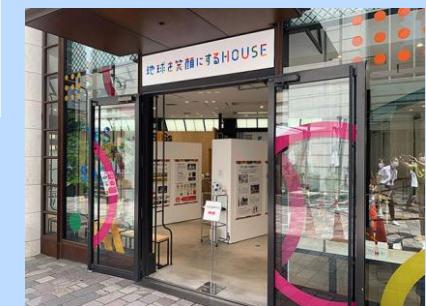
TCFDコンソーシアムに入会。



SDGsの取り組み

2021.11

- 「地球を笑顔にするSDGsアクションブック」を刊行
- TBSテレビ・TBSラジオ・BS-TBSでSDGsキャンペーン『地球を笑顔にするWEEK』第3弾を実施
- 『地球を笑顔にするHOUSE』のべ5,000人が来場



2021年度 第3四半期決算ハイライト

2021年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年 3月末	2021年 12月末	比 較		2021年 3月末	2021年 12月末	比 較
流動 資産	190,053	202,529	+12,476	流動 負債	86,176	69,989	△16,187
				固定 負債	219,162	271,679	+52,517
				負債 合計	305,338	341,669	+36,330
固定 資産	910,170	1,064,817	+154,646	純資産 合計	794,884	925,677	+130,792
				自己 資本	781,373	910,891	+129,517
				非支配 株主持分	13,511	14,785	+1,274
資産 合計	1,100,223	1,267,346	+167,122	負債 純資産 合計	1,100,223	1,267,346	+167,122

四半期末有利子負債残高： 270億円 (前期末比 △6億円)

※リース債務は除く

新ファミリーコア視聴率 (4~49歳)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③1.6 [△0.3]	③3.4 [△0.5]	③3.4 [△0.5]	③1.2 [△0.1]
日本テレビ	①3.2	①5.4	①5.1	①2.6
テレビ朝日	③1.6	④2.9	④3.0	③1.2
テレビ東京	⑥0.6	⑥1.7	⑥1.6	⑥0.4
フジテレビ	②2.1	②4.0	②3.8	②1.7
NHK	⑤0.9	⑤2.2	⑤1.9	⑤0.6
PUT	11.3 [△1.7]	21.3 [△2.6]	20.3 [△2.5]	8.8 [△1.4]

(2021/3/29 ~ 2022/1/2 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

個人全体視聴率 (ALL)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	④ 3.0 [△0.4]	④ 4.6 [△0.6]	④ 4.6 [△0.6]	④ 2.6 [△0.3]
日本テレビ	①3.9	②6.1	①5.8	①3.4
テレビ朝日	②3.8	③5.8	①5.8	②3.3
テレビ東京	⑥1.4	⑥3.6	⑥3.1	⑥1.0
フジテレビ	⑤2.9	⑤4.5	⑤4.4	⑤2.5
NHK	③3.4	①6.4	③5.5	③2.8
PUT	21.8 [△1.6]	35.9 [△2.3]	33.7 [△2.4]	18.5 [△1.3]

(2021/3/29 ~ 2022/1/2 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

(単位：%)

	3Q累計 (4-12月)	増減率	シェア	前年同期	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	47.4	19.7	情報・通信・放送	△3.1	17.1
2	酒・飲料	46.8	10.7	食品	△11.4	11.4
3	食品	△4.6	8.5	医薬品	△12.8	9.5
4	医薬品	3.0	7.6	酒・飲料	△23.2	9.3
5	化粧品・トイレットリー	19.2	7.2	化粧品・トイレットリー	△17.8	7.8
6	外食・サービス	41.9	6.7	外食・サービス	△23.2	6.1
7	金融	73.5	5.0	自動車・輸送機器	△10.8	6.0
8	エンタテインメント・趣味	76.5	4.5	交通・レジャー	△39.8	4.8
9	自動車・輸送機器	△13.6	4.0	金融	△38.9	3.7
10	交通レジャー	6.5	4.0	精密機器・事務機	△20.6	3.5

※ 順位は金額順

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ (12社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) CS-TBS

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント(株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株)マンガボックス

(株) TBSアクト

2021年4月1日に以下の会社を吸収合併

(株)赤坂グラフィックスアート

(株)アックス

OXYBOT(株)

(株)ティ・エル・シー

(株) TBSテックス

(株)東通

2021年10月1日より連結の範囲に追加

ライフスタイル(3社)

(株) スタイリングライフ・ホールディングス 他2社

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給(株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(3社)

(株) プレースホルダ

(株) プレミアム・プラットフォーム・ジャパン

(株) WOWOW